

Q1. 教育コースの募集定員は何人ですか？

A1 ・定員は20人です。

Q2. 教育コースは3年間、同じクラスですか？

A2 ・教育コースは2クラス以上に分け、普通コースとの交流を図ります。  
・2年生から文型と理型に分かれ、普通コースの文型と理型との交流を図ります。

Q3. 教育コースだけを担当する担任の先生はいますか？

A3 ・います。

教育コースの生徒と普通コースの生徒が一緒になって1つのクラスを作り、授業や学校行事などに一緒に参加します。そして、他の普通コースのクラスと同じようにホームルーム担任と副担任がつきます。さらに、教育コースには各学年に、教育コースを専属で担当する担任がつきます。

・つまり、教育コースは「3担任制」となるので、きめ細かく生徒をサポートできます。

Q4. 教育コースの授業は、普通コースと全く別の授業を受けるのですか？

A4 ・教育コースは普通科の中のコースなので、ほとんどの授業は普通コースと同じで、普通コースの生徒と一緒に同じ授業を受けます。  
・具体的には、3年間で、教育文型コースでは99単位中86単位が、教育理型コースでは99単位中88単位が、普通コースと全く同じ授業です。  
・教育コース単独の授業（3年間で4単位）としては、体験実習や大学の先生による講義などで教育について学びます。  
また、英語・数学で少人数による教育コース独自の授業（3年間で教育文系コースは9単位、教育理系コースは7単位）を行います。

Q5. 体験実習などがありますが、部活動はできますか？

A5 ・実習などは部活動と両立できるように設定しますので、部活動には影響ありません。

Q6. 入学後に、教育コースから普通コースに変わることはできますか？

A6 ・1年生から2年生に進級する時に、一定の条件が整えば変わることは可能です。

Q7. 教育コースに入ったら、必ず教育系大学を受験しなければいけないのですか？

A7 ・必ずしもそうではありません。

教員に限らず、教育コースで学ぶことで地域・世界・未来を意識した生徒を育てることを目指しています。したがって、この教育コースの学びは、教師にならなくてもそれぞれの進路にプラスに働くと考えられます。

Q8. 海外教育視察は、必ず行かなければならないのですか？

A8 ・教育コースの授業（教育探究Ⅰ）として行う視察のため、特別の事情がない限り、全員参加となります。

Q9. オーストラリアへはいつ行くのですか？

A9 ・2年生の3月に実施を予定しています。  
・ただし、国際情勢の変化などにより、行き先や時期を変更する場合があります。

Q10. 費用はどれくらいかかりますか？

A10 ・授業料等は普通コースと全く同じですが、これとは別に海外教育視察の費用として、毎月13,000円程度の積み立てを計画しています。  
(1・2年次のみ。3年生は積み立てなしの予定。)